



RI 第 2770 地区 Rotary 第 5 グループ

鴻巣水曜ロータリークラブ

ロータリーのマジック

THE MAGIC OF ROTARY

第 1496 回例会 2024 年 8 月 7 日



例会プログラム

点鐘	司会 松本安永 SAA
ロータリーソング斉唱(奉仕の理想)	
四つのテスト唱和	馬場知行会員
会長挨拶	本多邦光会長
幹事報告	小宮山浩三幹事
お客様卓話	
	第 2770 地区 ガバナー 岡村睦美様
出席報告	山口光男委員
スマイル報告	坂口正城委員
点鐘	

会長挨拶

本多邦光会長

みなさんこんにちは。

本日は立秋ですが暑い中例会に出席していただきありがとうございます。

まずは、本日のお客様を紹介します。

国際ロータリー第 2770 地区 岡村睦美ガバナーです。赤塚正樹地区副幹事です。

第 5 グループ前島昌文ガバナー補佐です。村山隆之ガバナー補佐幹事です。

本日はよろしくお願ひします。

先日の日曜日は、馬場会員の宝持寺の薬師様の縁日に出店して「バザー・ポリオ募金」を行いました。久しぶりの地域での奉仕事業でした。みなさんから提供していただきましたバザーの物品は、すべて完売することができました。売上合計の 2 万 5 千 7 0 0 円は、すべて、ポリオ募金に寄付します。人気商品は、お米、ビール、お酒類、麺類、お菓子等の食品類でした。意外と最後まで売れ残ったのが、ゴルフ用品でした。

来年は、渡辺綱没後千年祭がこの宝持寺において開催されます。ロータリーとしても協力していきたいと考えています。今年度、RI の会長が掲げるテーマは「ロータリーのマジック」ですが、このように小さな事業から地道に地域で奉仕の輪を広げていくことが、「ロータリーのマジック」に



点鐘

本多邦光会長

ロータリーソング斉唱

奉仕の理想

四つのテスト唱和

馬場知行会員



なっていくと思いますので、これからも地域での奉仕事業を継続して頑張っていきたいと思います。

本日は、ガバナー公式訪問ですが、あえてクラブの現状をお話すると、現在、マスコミ等で消滅可能性都市というのが話題になりますが、鴻巣水曜RCは消滅可能性クラブの一つです。会員数は、市内のクラブでは一番多いですが、今のままでは、2年後、35周年を迎えることはできません。8月は、本日の岡村ガバナーの卓話、21日は地区から会員増強委員の卓話があります。

28日は、2回目のビジョン・戦略計画作成のためのクラブ協議会を行います。

8月はクラブの将来を考える月になります。会員一人ひとりの力が必要です。「誰かやってくれるだろう。」ではクラブは消滅してしまいます。ぜひ、みなさんのできる範囲で良いので、クラブに対してのご協力をお願いします。本日は岡村ガバナーの卓話を聞いて、今後のロータリー活動に活かしていただきたいと思います。

本日はよろしくお願いします。

幹事報告

小宮山浩三幹事

皆さん、こんにちは。
本日は、岡村ガバナー来て頂いて卓話とご指導、よろしくお願いします。それから先



週は、前島ガバナー補佐、村山補佐幹事をお迎えして卓話をいただきありがとうございました。先週日曜に宝持寺さんの縁日で、ポリオチャリティバザーを行い、合計25,700円の売上がありました。売上はポリオ募金に当てさせていただきたいと思います。参加いただいた皆さん、商品提供していただいた皆さん、ありがとうございました。

来週はお盆休みのために休会となります。

次回の例会は21日に通常例会となります。
お間違いないようにしてください。

8月10日、17日部門別セミナーがあります。

10日はソニックシティで米山記念奨学部門、
17日はフレンジアで青少年奉仕部門

出席予定されている方はよろしくお願いいたします。

今日は以上です。よろしくお願いします。

お客様卓話

第2770地区ガバナー 岡村睦美 様



皆さんこんにちは。

私が2024-25年度の1年間、国際ロータリー2770地区のカバナーを務めさせていただきます川口ロータリークラブから出向しております岡村睦美と申します。

どうぞ皆様、1年間よろしくお願いいたしますと思います。

この公式訪問ですが、私たちの地区は約70、ガバナーの重要な役目、その一番に全クラブを回って今年度のRIの方針を皆様にお伝えして理解していただく、そしてクラブ協議会等を交えた皆様との懇談の中から、そのクラブの中にもRIの今年度の方針を落とし込んでいただき、皆様の奉仕事業を活性化していただく、そういう役目がガバナーの重要な一番の役割ということで、今日皆様のところに公式訪問に参りました。

そしてもう一つ、ガバナーは必ずやらな

くちやいけないことが、年に 1 回地区大会を催して、全クラブの全会員を招集して皆様の気持ちを一つにして奉仕活動に向かっていく、そのために地区大会を催すこと、これがガバナーの最大のミッションでありガバナーの役割です。

右側に写っていらっしゃるのが、今年度の国際ロータリーの会長ステファニー・アーチックさんという女性の RI の会長です。2 人目の女性会長です。



皆さんご記憶に新しいと思いますが、細渕年度の時にジェニファー・ジョーンズさんという初めての女性の RI 会長が出ました。そしてまた、ステファニー・アーチックさん、2 人目のアメリカ出身の女性会長ということです。今年の 1 月 6 日から 1 週間にわたって、アメリカのオーランドで国際協議会があり、この国際協議会には世界中のガバナー予定者、私と同期の世界のガバナーが全員集められまして、1 週間ガバナーになる研修を受ける。皆様が会長になる時、今、ペルスって言いますが、ペッツという 1 日半、2 日間にわたって会長になる研修を受けなければ会長をできないという規約になっています。ガバナーもこの国際協議会に出て、1 週間研修を受けないとガバナーになれないということになってますので、そこに今年の 1 月に行ってきたときの写真と一緒に撮った写真です。一緒に撮ったと言っても最後なんですけど、この握手する前に、全 528 人のガバナーに言ったことは、「あらゆる全ての国の各地区は 100 人会員を増やしてください。そして 4 つの新しいクラブを作ってください。どちらかやってくださいじゃないです。両方必ず実現させてください。」というのがステファニー・アーチックさん RI 会長の方針であり、お願いであり、それを全世界のガ

バナーに対して強く強く皆さんと約束してくださいね。という固い握手をしているところです。

ステファニー・アーチックさんですが、ビジョン声明の後の戦略計画、行動計画、それを国際ロータリーの中で推奨して実現して作った人として有名です。この戦略計画、行動計画というのは、このままだとロータリーはどんどん会員を減らしてしまっていて、もしかしたらなくなってしまう組織になるんじゃないか。そういう危機感から、何とかクラブの会員数を増やす。そのためには各クラブの活動を活性化させる。それにはどうしたらいいかということで、戦略計画や行動計画を作りましょう。そういうことを推奨した方です。

これは私の経歴ですが、私は今から 22 年前川口ロータリークラブの初めての女性会員として入会させていただきました。

65 年という長い歴史を持つ川口ロータリークラブの中では女性会員は入れない。という理事会決定が長くあった中で、先を見越して女性会員を入れないとうちのクラブはこれ以上会員が増えないんじゃないか、発展しないんじゃないか、という考えを持った数人の人たちが大反対をしている理事が休んでいるときに、私の入会届をさっと出した。と後からそうだったというふうに聞きました。入会式もガバナーが公式訪問に来て初めてバッジをもらって付けてもらって、女性会員入ったのかみたいな感じでしたが、さすがにガバナーがバッジを付けてくれたので、公に文句を言う人はいなかった。一人じゃ大変、このまま一人でいても居心地悪いと思ったので、声をかけて女性に頼んで、またその人がちょっと入ってと言って、という風にして 5 人くらいになりました。5 人くらいになったらまた反対している長老の人たちに呼ばれて、これ以上増やすな、女は 5 人以上いるとうるさい

と、それから理事にしようという動きに対して女を理事にすると金を握られてダメだというような色んな動きがありました。不思議と国際ロータリーが女性会員を増強するという方針を立てた途端に公にそういうことを言えなくなったので、どっと増えまして、今はうちのクラブは 20 人、約 2 割の女性会員、理事会の 4 割が女性です。

世界的に見ると、世界の女性の平均会員数は 23%です。国際ロータリーは 3 割を目指しています。日本が一番多くて東京ですけども、東京で 11%、それが一番多い比率で、私たちの地区は 7%から多くて 9%というようなことが現状です。今女性会員を入れないって言うこと言っちゃうと、国際ロータリーの規約に違反しますので、うちの地区にも何クラブかはまた日本全体だとそういうクラブも多いですが、女性を増強しましょう。というのは世界はそういう流れです。人口も減ってますし女性も活躍する時代になって社会的に経済的にも活躍してる人も多いので、女性も取り組まないと、さらに人数を増やしていくというのは難しい、そういう時代になってきているということだと思っています。

そして、この 2024-25 年度の国際ロータリーの会長テーマですが、The Magic of Rotary 翻訳しないでこのまま使ってくれと、ステファニー・アーチックさんが言ってます。ロータリーのマジックっていうのが今年のテーマです。

ロータリーのマジックを信じよう。でもいいし、ロータリーのマジックを広めよう。またはロータリーのマジックを土台に発展させよう。それは各地区、各クラブが自分のところにあった奉仕事業をすることによって、マジックっていう言葉を使ってくれませんか。

来週は増強の部門委員長の羽田さんが見えるということですが、部門委員長にもお

願いして、財団にもお願いして、とにかくみんなで頑張ってるっていうような話はしてました。例えば、女性を入れようとか、若い人を入れようとか、そこに前島ガバナー補佐が作ってくれたのを貼ってありますが、一番下にある DEI+B で推進しましょうって、DEI+B って何でそんな横文字ばかり言ってんだみたいな、そういうような反応が強いんですが、そういうところもちょっと真面目に考えていかないと、これからロータリーって社会の動きからどんどんずれちゃって、そんな入会してくる人はいないんじゃないか。いつか消滅しちゃうんじゃないか。そういうような危機感を覚えました。

まず私ができることをやろうと思い、女性の部門委員長が、今までいても一人かいなかったりってことなんで、3 人ぐらい部門委員長になってもらえないか。それから、若い部門委員長も抜擢しないと、若い人がもっと入ってこないな、自分も頑張れば地区の役員になれるぞ。自分も頑張れば女性でも役員になれるよみたいな。そういうような希望もなくちゃいけないんじゃないか。

それから地区何十年も同じ人がいて、なんかもう新しい人が入る余地がない。そういうところもいけないんじゃないか。そういうところはまさに多様性とか、そういうことを人事の面でやれる範囲で一生懸命やってみようというふうに考えました。

さて、ステファニー・アーチックさんの会長の最優先事項というのを強く話しています。今私が話したように、会員増強のために行動計画を作ってくださいね。ただ単に楽しく、みんなで親睦やって楽しいねって言うだけじゃだめなんですよ。もうちょっとせっかくいい奉仕事業いっぱいやってんだから、それをみんなにもっとアピールして、そのためにはどうしたらいいかっていう行動計画を練ってくださいねと強

く言ってます。

それから、こういう風にも言ってます。今、例会は最低月 2 回で大丈夫ですし、衛星クラブとかそういうような形で例会をやらなくても Zoom でやっていいですよ。そうすると最低 7 万ぐらいの月会費だと、RI 分担金、地区分担金出せばあとは自由に何でもどういう形態でもいいですよ。奉仕事業きちっとやれば、そういうような方向にどんどん傾いてます。

ロータリーの友の 8 月号に新しいクラブのスタイルっていうところでうちの地区も紹介されてます。さいたま大空ロータリークラブ、米山学友の人や財団の学友の人だけで作ったやっぱり Zoom だけで例会をやり、月 2 回の例会をやりますが、彼らはいろいろな学友ですから世界中ネットワークがあるので国際奉仕に特化した奉仕事業をやっていると、うちの地区からも紹介されてます。その中にはシニアロータリークラブだとかいろんなロータリークラブが実際にきて活動してるって紹介されてますが、いろんなスタイルでいいですよ。点鐘もしなくたっていいですよ。いつまでも同じ奉仕事業しなくたっていいですよ。ありとあらゆる可能性をいいんですよっていう風に話してますが、この赤く書いたところ 4 つのテストと中核的価値観、DEI+B と、これだけは普遍的なロータリーの価値観なんで、これは守ってくださいよっていう風にステファニー・アーチクさんは言っていました。

4 つのテストは皆さんさっき唱和してて、どのクラブも唱和してて、貼ってありますし、ご存知の 4 つのテストです。これはロータリーの精神の中では曲げてはいけないものなんで、もう 1 回、皆さんロータリアンって、この 4 つを日々実践している人たち、4 つのテストを守って生きている人たちが、他の社会人と違うところですから、これはもう 1 回、きちっと自分の言動はこ

れに照らしてからって書いてあるので、もう 1 回、それをちゃんと自覚してくださいって言ってます。そしてもう 1 つ、中核的価値観、こちらガバナー補佐が作ってくれたところにも貼ってあります。これを守っているのがロータリアンたるゆえんなんですから、ここは守っている人がロータリアンとしての誇りという風にしてください。プライドですよ、一番上、奉仕、サービス、もちろん奉仕活動、人のために何か役立つことをしようと集まっている皆さんがロータリアンです。

親睦、フェロシップ、フレンドシップじゃないです。集まって酒飲むということじゃなく、一緒に奉仕事業をやることによってお互いに共通の共有する友情が生まれるフェロシップがある人たちですよ。

そして多様性ダイバーシティ、どこでも今ダイバーシティです。民間の会社行っても経済界でもダイバーシティ、ダイバーシティということですが、女性も若い人も障害がある人も、みんな差別しちゃいけませんよ、そういう風に受け入れてください。

今までロータリアンこの人ロータリアン、こういう人はロータリーに入っちゃいけないよねという既成概念を取ってください。そして、高潔性インテグリティ、職業奉仕ロータリーの目的の中の 2 番目にうたってますが、常に高潔性が持つ人たちがロータリアンですよ。そして最後、リーダーシップ、リーダーシップは皆さん、それぞれ会社の社長さんで社会に出ればロータリーの外ではリーダーですから、そういうリーダーの人たちが集まったクラブ、リーダーを束ねるリーダーシップのスキルを持ってくださいね。

そういうような、そこに関与の心とかそういうのが出てくると思うんですが、そういうのがこのロータリアンである中核的価値観、これをいつも守ってるという人がロ

ロータリアンで、ロータリーに入っていない人とロータリアンの違いは何ですかと言ったらこれなんです。と、ここは変えられません、これはロータリーの不偏的な精神だという風に、さらに強固にもう1回、RIの方では打ち出しているということです。

皆さんのこのクラブの結果と同じように、世界的には奉仕っていうのが3割ぐらいで、次に親睦1割ぐらいという風になってます。

ただ、海外は高潔性っていうのはすごく重視してます。インテグリティ、高潔性っていうのを重視して、ここら辺になると同じぐらいの重要性があると思ってますが、私は結構うちの地区は親睦、奉仕はもう一生懸命、どこのクラブ見ても親睦にかけてるお金すごいなと、すごく親睦事業にはみんなお金をかけているな、そういう風に思います。

中には1000万とかかけてすごいな、ここら辺は心に関してはうちの地区の皆さんやここら辺だとちょっとなかなか難しいなと、そういう部分がちょっとそういうところがもしかしたらもっと強くてもいいんじゃないかな、そんな風には考えています。

そしてDEI+Bなんですけど、要するになんでDEI+B DEIって言い出したのは、2年前の初めての女性会長のジェニファー・ジョーンズさんです。

Dはダイバーシティですから多様性です。公平性はみんなに公平かって、4つのテストありますよね。実は4つのテストに公平かって言ってるので、この公平性っていうのはロータリアンはみんな当たり前に思ってる。平等と違いますからね。公平は平等だと今日今暑いから皆さんにジュース配りますって言って、もし配ったとすると平等なんですけど、いや、誰々さんはこれが好きでしょう。誰々さんはこれがいいでしょうとして、もし配ったとしたらそれかなり公平な気くばりができている。

ロータリアンで言うと、入ったばかりの若い、例えば、山口さんが入会されました。若くて能力があるから、じゃあもう委員長に抜擢しようというのは、実は公平性みたいな、みんながいや、もううちのクラブは10年経ってやっと幹事、20年経ってやっと会長、そういうことをやっているとでもないけど、若手も育たないし、どんどん組織がダメになっちゃう。今はそうじゃないでしょうと、それぞれ能力が高ければ役職に抜擢してくださいねと、そうじゃないと、ロータリー良くなりませんよということです。

ここに入ってきたら居心地が良くて、帰属意識を持っていて、そこにバッチに誇りを持てると、そういうような雰囲気を作ってくださいね。そうしたらクラブの人が増えるに決まっていて、辞めるはずないじゃない、というのが考え方です。

ビジョン声明っていうのは今でもロータリーの本部、シカゴのエヴァンストンには、壁一面に大きく電光掲示板のような形でピカピカと大きく、もちろん英語で書いてるんですが、特にこの赤線の引いた人々が手を取り合って行動する together take action そのところは特にピカピカと光っています together take action 一緒に手を皆さんと取り合って行動することによって世界を目指していきましょう。それでより良い奉仕をしましょう。というのが、今のロータリーの目指す方向であるということです。

世界中のロータリアンと手を取り合って良いことしましょう。行動しましょう。っていうお金だけ寄付するとかじゃなくて行動しましょう。という風に言っています。

もう一つ、国際ロータリー、今年から大きく変わりました。私たちは単年度ですね、会長も、ガバナーも、役員も単年度で代わります。ところが、初めて国際ロータリー

は指導的立場にある人の継続性を考えようじゃないかという風な方針を出しました。

3 year rolling target 3年計画を考えよう。例えば、私ガバナー、エレクト、ノミニーと3人が集まって5年後の2770地区はこうなるんですということを3人で相談してやってくれ。クラブも同じことを言ってます。会長、エレクト、ノミニーが決まったら3人で、5年後の鴻巣水曜クラブはこういうクラブになるんだと、こういう人数でこういうクラブになるんだということをよく相談して、それをちゃんと決めてください。

来年の6月までにそれをちゃんと登録してください、そういう風に言ってます。

やはり単年度じゃ、もうやりきれないと、日本のロータリーは今8万2000人ぐらいですが、実は10年後には6万人を切るというAIの数字が出てます。先ほど会長が、鴻巣水曜の未来は非常に危ういとそういう風におっしゃってましたが、まさに当たっていて、日本のロータリーそのものもいずれ6万人を切るだろうという風に言われています。ですから、そこに何とか歯止めをかけなくてはいけない、なんて言ってもロータリアンが減っては奉仕活動ができなくなってしまうという、そういうような意味で、とにかく歯止めをかけなくちゃいけないとそういう風に言っております。

そういうことで、今まではポリオプラスソサイティって毎年毎年1000ドルとか100ドルとかそういう毎年の積み重ねなんですけど、そういう会員を増やせば毎年減らないので、そういうことでお願いできないかな、ということで、各地区100人ずつお願いしますねとRIが言ってますので、私も各クラブの皆さんにお願いしています。と言ってももちろん毎年10万から15万の間、毎年1万円から1万5千円という、月1000円ぐらいで、15万円だとしても月1万

2千円ぐらいなんですけど、それを積み立てていただければ、ということで、お願いできませんかというような形の寄付ですね。

つまりこういうことです。どうぞ一人一人が変化のリーダーとなる自覚を持ってください。ロータリーを変えなくちゃいけない。その変えるのは私たち一人なので、どうぞ変革に対して拒否反応しないでくださいねと言っています。

もう一つロータリアンはハラスメントはRIは民間よりも厳しく、さっきの高潔性じゃないんですが、民間でもいろいろなことでハラスメントで辞任されている方がいますが、ロータリーは民間より厳しく、インテグリティですから、高潔性をもって対処していますよ。ということもRIの方針です。

そして最後に、私も微力ではありますが、なんとかこの地区を5年後、10年後、もう少し皆さんが発展できるように、そしてロータリーが埋没しないように、是非、皆さんと一緒に力を合わせて頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞ皆さんの心からの応援をよろしくお願いしたいと思います。

出席報告

山口光男委員

今後の活動予定

	本日	修正	
	8月7日	7月31日	7月17日
	1496回	1495回	1493回
	通常例会	通常例会	通常例会
会 員 数	26	25	25
出 席 数	19 (ZOOM 出席)	19 (ZOOM 出席)	13 (ZOOM 出席)
欠 席 数	7	6	12
例会出席率	73.08%	76.00%	52.00%
M U 数	2	0	3
合計出席数	21	19	16
出 席 率	80.77%	76.00%	64.00%

8月14日(水)	休会
8月21日(水)	第1497回通常例会
8月28日(水)	第1498回移動例会
9月4日(水)	第1499回通常例会
9月11日(水)	第1500回通常例会
9月18日(水)	第1501回移動例会
9月25日(水)	第1502回移動例会



スマイル報告

坂口正城委員

個人スマイル

宮城 仁会員…異業種交流、今月もたくさん協力頂きありがとうございます。

スマイル1…岡村睦美ガバナーようこそ鴻巣水曜 RCへ、本日は宜しくお願いします。

お客様スマイル…本日は宜しくお願いいたします。

第2770地区ガバナー 岡村睦美様

宮城仁会員・馬場知行会員・山口光男会員・松本安永会員・井上脩士会員・大澤二三夫会員・石井英男会員・坂口正城会員・宮坂良介会員・細野潤一会員・木下純一会員・宮内たけし会員・川邊城治会員・中島安啓会員・大石正行会員・本多邦光会員・上原良介会員・小宮山浩三会員・山口剛会員



前回までの合計	51,500	円
本日の合計	27,000	円
次回繰越金合計	78,500	円

クラブ会報委員会

委員長 木下純一 副委員長 井上脩士
委員 小宮山浩三